



2024年7月18日

各 位

会 社 名 東北電力株式会社
代表者名 取締役社長 社長執行役員 樋口 康二郎
(コード番号 9506 東証プライム)
問合せ先 原子力部原子力企画課長 佐野 智也
(TEL. 022-225-2111)

女川原子力発電所2号機における再稼働工程の見直しについて

当社は、女川原子力発電所2号機の安全対策工事の完了時期および今後の再稼働工程について、2024年2月19日に、「女川原子力発電所2号機における安全対策工事完了時期の見直しについて」のとおりお知らせし、2024年5月27日に、当社ホームページにて「女川原子力発電所2号機における安全対策工事の完了について」のとおりお知らせしましたが、今般、再稼働工程における燃料装荷時期について、これまでの2024年7月頃から、2024年9月頃に見直すことといたしました。

これに伴い、再稼働（発電再開）時期については2024年11月頃と想定しております。

[参考] これまでの想定

- ・再稼働（発電再開）時期：2024年9月頃

女川原子力発電所2号機は、2024年5月27日に安全対策工事が完了し、燃料装荷前に実施する「大規模損壊訓練」「シーケンス訓練」に向けた準備をしているところです。

こうした中、大規模損壊訓練に先立ち、原子力規制庁による原子力規制検査（現場確認）が6月に実施されました。

その中で、重大事故時等の対処設備として配備した可搬型設備^{*1}の保管エリアおよび移動経路^{*2}近傍の仮設建築物について、地震で倒壊した場合の影響評価を行っていなかったことが指摘されました。

この指摘を踏まえ、仮設建築物が地震で倒壊した場合の影響評価を行うとともに、評価結果を受け、仮設建築物（休憩所2棟・倉庫1棟）の撤去作業を進めております。

このうち、仮設建築物（倉庫1棟）の撤去作業に時間を要していることから、燃料装荷前の訓練実施時期を2024年8月とし、燃料装荷時期を2024年9月頃に見直したものです。

当社としては、引き続き、安全確保を最優先に、一つひとつのプロセスにしっかりと対応するとともに、地域の皆さまに当社の取り組みを丁寧にお伝えしながら、再稼働に向けて全力で取り組んでまいります。

なお、2025年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

※1 重大事故時等において、原子炉を冷却するための水を送水する大容量送水ポンプ車等の可搬型設備

※2 重大事故時等において、大容量送水ポンプ車等の可搬型設備を保管エリアから設置場所まで移動・運搬する道路（アクセスルート）

以 上

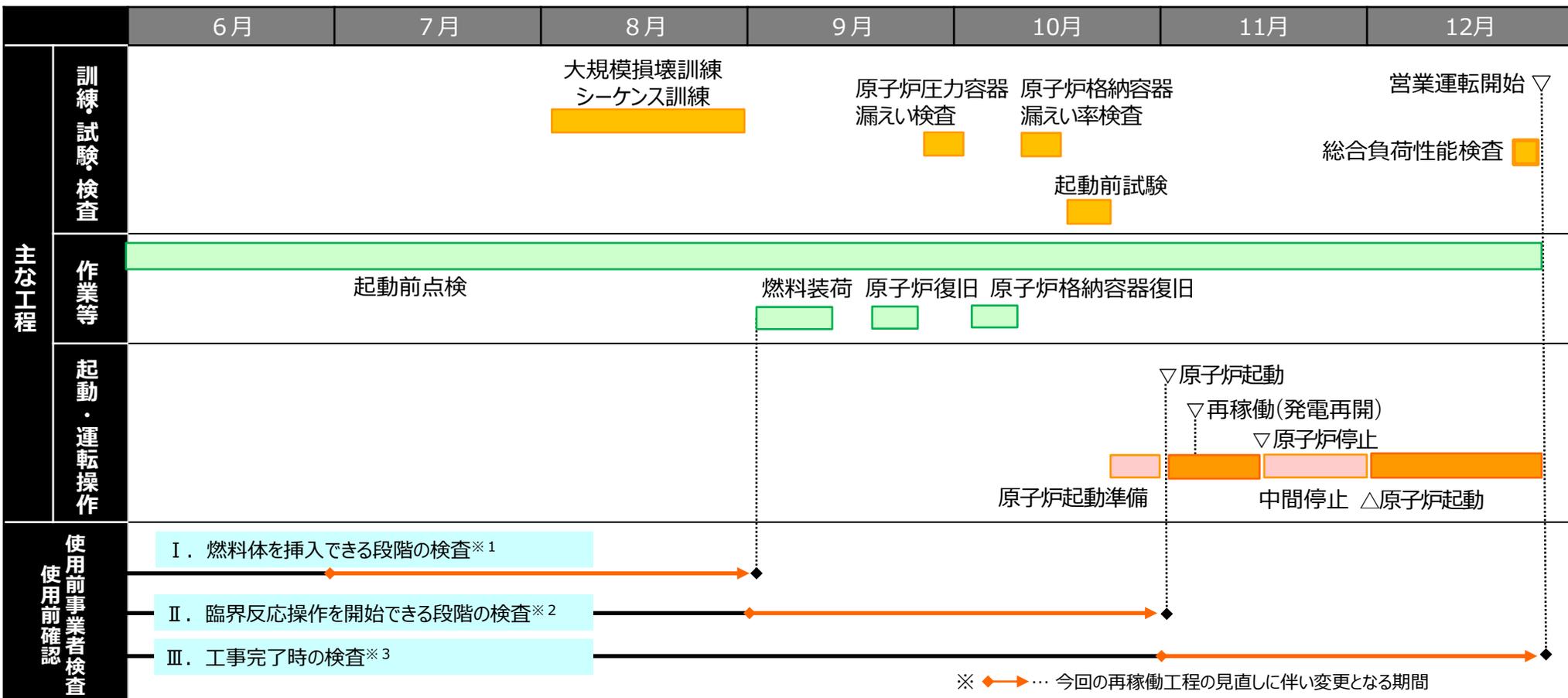
(別 紙)

・女川原子力発電所2号機における再稼働工程の概要について

■女川原子力発電所 2号機における再稼働工程の概要について

- ▶ 女川原子力発電所 2号機における再稼働工程については、燃料装荷前の訓練実施時期を2024年8月とし、燃料装荷時期を2024年9月頃、再稼働（発電再開）時期を2024年11月頃、営業運転開始時期を2024年12月頃と想定しております。
- ▶ また、「使用前確認申請書の記載内容変更について」を原子力規制委員会に提出するとともに、「使用前検査申請書の記載内容変更について」を原子力規制委員会および経済産業大臣に提出しております。
- ▶ 引き続き、安全確保を最優先に、一つひとつのプロセスにしっかりと対応するとともに、地域の皆さまに当社の取り組みを丁寧にお伝えしながら、再稼働に向けて全力で取り組んでまいります。

【再稼働工程（イメージ）】 ※再稼働工程における各種検査・試験や作業等においては、必要に応じ立ち止りながら確認を進め、安全確保を最優先に取り組んでまいります。



※1 「I」の検査終了後に、原子炉に燃料体を挿入（燃料装荷）する。
 ※2 「II」の検査終了後に原子炉起動操作を行い、その後、発電機を並列し発電を開始（再稼働）する。
 ※3 「III」の検査終了後に、営業運転開始となる。

各検査期間において、原子力規制委員会による「使用前確認」が適宜実施される。